

<中学校>

- ・食事や起床・就寝時間など、基本的な生活習慣がしっかりと身につけています。
- ・テレビやインターネット視聴の時間などは、全国平均に比較してかなり短くなっています。
- ・家庭での学習時間は昨年度に比べ多くなり、復習だけでなく自分で計画を立てて取り組んでいます。
- ・自分の良さがわかり、将来の夢や目標をしっかりと持っています。
- ・「人の気持ちが分かる人になりたい」と考え、いじめに対しては全員が否定しています。
- ・学校での学習に対し意欲的であり、最後まであきらめずに考え抜く姿勢を持っています。



<具体的な方策>

- ◇ 家庭学習の定着を目指し、引き続き宿題や課題を与え、家庭学習ノートを活用したり、テスト前の学習計画表を提出させたりするなど、家庭と連携した学力向上への取り組みに努めます。
- ◇ 将来の夢や目標が見いだせるよう、道徳や総合的な学習の時間、部活動などを通じて、自分の生き方や在り方を考えられるように働きかけ、今後も豊かな心の育成を柱とした学力の向上に努めます。

● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

<小学校>

【国語】

- ・書くこと（ノートやワークシート、プリントなど）を重視した授業を通して、書かれている内容を理解し、言葉を選んでまとめる力を身に付けさせます。
- ・引き続き、朝学習や授業での漢字練習や短文づくりを繰り返し習得するまで取り組みます。
- ・音読の時間を確保したり、朝読書や家庭での読書に取り組んだりして、内容を読み取る力や自分の考えを短くまとめて書く力を高めます。
- ・個に応じた指導方法や手立てを工夫した授業づくりに努め、効果的な家庭学習の充実を図ります。

【算数】

- ・学習内容の要点や数学的な考え方・見方の復習によって、計算力や答えの求め方等の基礎的・基本的な事項を確実に習得させます。
- ・操作活動によって段階的に考える場面を多く取り入れることによって、筋道を立てて説明する力や解決する力を身に付けさせます。

<中学校>

【国語】

- ・読んで理解する、自分の意見をまとめて書いたり、発表したりするなどの学習活動を今後も意図的に取り組みます。
- ・漢字や語句を正しく使って文章を書くことや表現方法や語彙の広がりを意識した学習活動に取り組めます。
- ・テストで間違えた問題の直しにより、理解を図ります。
- ・読書活動の習慣化を目指し、継続して朝読書や読書の仕方の学習に取り組めます。

【数学】

- ・基本的な計算問題を数多く解くなど、繰り返し取り組みます。
- ・獲得した数学的思考を応用し、発展的な問題を解決させたりして、理論立てて解答できるように指導をします。
- ・必要に応じて習熟度別指導や個別指導により、生徒のつまづきへの指導を行います。

平成25年度
全国学力・学習状況調査の
結果の分析と考察

豊頃町の児童・生徒の 学力や生活習慣は？

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】

● 全体的な傾向

平成25年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数(数学)の学力と学習状況が調査されました。この調査は、全国的な学力や学習状況を把握・分析し、教育水準の維持向上の観点から教育施策の検証と改善を目的に実施しています。調査内容は、国語や算数・数学の「知識」や「活用」に関すること、学習意欲や生活習慣、学習環境に関することです。

その結果から、小学校では2教科ともにほぼ全ての領域で正答率が全国平均を下回っていて、習得すべき内容がしっかりと身につけていないことが判明しました。授業内容をしっかりと定着させるためには、授業の改善と家庭学習の習慣化が喫緊の課題と言えます。

中学校では、昨年度に引き続き平均正答率が2教科ともに全国・全道平均を大きく上回っています。傾向として、どの領域においても着実に習得できています。特に国語では「話すこと・聞くこと」「書くこと」、数学では基礎基本がしっかりと定着していることが判明しました。

小学校と中学校での結果に差が生じたのには、様々な要因があると考えられますが、家庭学習の取組姿勢が大きく異なっていることもあります。町内の学校ではこのような結果を踏まえ、家庭との連携を図りながら、今後も学習習慣などの改善に努めていきます。

学校では、子ども一人一人にまず基礎的・基本的な知識および技能を確実に身につけさせ、次にそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む意欲や態度を養うように取り組みます。

<小学校>

国語 A (知識)

漢字を正しく読んだり書いたり、目的に応じて資料を読みわかったことを書く力に特に課題が見られます。

国語 B (活用)

話すことや聞くことはおおむねできていますが、根拠を基に自分の考えを書く力に課題が見られます。

算数 A (知識)

ごく基本的な整数の引き算や小数どうしのかけ算に誤りが目立ちます。概数にしたり、台形の面積を求めることや割合の理解に課題が見られます。

算数 B (活用)

情報を処理し筋道を立てて考えたり判断することが苦手だったり、単位量当たりの大きさなどに着目して二つの数量の関係の求め方を説明したり記述することに課題が見られます。

<中学校>

国語 A (知識) 国語 B (活用)

・話す・聞く能力、書く能力、読む能力、言語などの知識・理解・技能の能力などの全ての領域においてしっかりと習得しています。
・図と文章との関係や、文章の展開に即して内容をしっかりと捉えられています。
・文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができます。

数学 A (知識) 数学 B (活用)

・基本的な計算や図形・関数に関する知識が身に付いています。また、資料の活用もよくできます。
・与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができます。
・資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に証明することができます。

児童・生徒の学力の傾向
教科(国語・算数・数学)ごとの傾向

● 児童生徒の学習習慣や生活習慣の傾向

～児童生徒質問紙調査から～

<小学校>

- ・生活面では、基本的な生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）が身に付いています。
- ・テレビやゲームをする時間がとても長く、家庭での学習（予習・復習を含めて）や読書の時間が極端に短い傾向にあります。
- ・自己肯定感が低い傾向があります。反面、将来の夢や目標をしっかりと持っています。
- ・自分から進んで挨拶したり、地域行事に参加したりすることができています。
- ・家庭での会話が長く、よく手伝いをしています。



<具体的な方策>

- ◇ 学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させるとともに、学習の仕方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◇ 家庭では、一日のテレビやゲームをする時間を決めるなど、生活リズムの見直しを行い、家庭学習や読書、手伝い、会話する時間をつくるなど学校と協力して取り組みましょう。

豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

- ◎ 学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めます。また、学習の指導方法や授業の工夫・改善によって、子どもの学びの意欲を高め「わかる喜びを味あわせる」ように取り組みます。
- ◎ 家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化（まずは授業の復習をその日のうちに）に取り組ましましょう。

「家庭学習の手引き」（平成25年2月発行）を参考にして下さい。

問合せ先 教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801

▽豊頃町の児童・生徒の学力や生活習慣は？
広報とよころ

役場だより

▽豊頃町の児童・生徒の学力や生活習慣は？
広報とよころ

役場だより